

令和5年度第1回 おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議

日 時 令和5年9月26日（火）
14時～

場 所 おいらせ町役場本庁舎 庁議室

— 次 第 —

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 町長あいさつ
4. 案 件
 - (1) 会長・副会長の選任について
 - (2) まち・ひと・しごと創生総合戦略について
 - (3) 昨年度の活動（これまでの経緯）について
 - (4) おいらせラボ（仮称）の開催について
 - (5) 今後のスケジュール
5. その他

配布資料

資料1	第2期おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略
資料2	おいらせ町人口ビジョン（令和2年改訂版）
資料3	新規事業の検討
資料4	令和3年度 数値目標・重要評価業績指標（KPI）の達成状況

(令和5年度) おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員名簿

令和5年9月26日～令和7年9月25日 委嘱の日から2年間

No.	条例区分 第3条関係	地方創生国区分 (産官学金労言士)	所属団体	職名	氏名
1	国又は県の地方 行政機関の職員	行政機関	厚生労働省青森労働局 三沢公共職業安定所	所長	中嶋 真理子
2	国又は県の地方 行政機関の職員	行政機関	上北地域県民局地域 連携部地域支援チーム	リーダー	杉山 智明
3	公共的団体の役 員及び職員	産業界	おいらせ町商工会	副会長	柏崎 尚久
4	公共的団体の役 員及び職員	住民	おいらせ町地域活動 連絡協議会	会長	森 美穂
5	その他	産業界	下田タウン株式会社	代表取締役 社長	高田 雅史
6	その他	金融機関	青森銀行百石支店	支店長	中村 綱吉
7	その他	教育機関	青森県立百石高等学校	校長	志村 博
8	学識経験	教育機関	弘前大学大学院 地域社会研究科	教授	平井 太郎
9	公募委員	住民			佐々木 秀智
10	公募委員	住民			佐々木 寿子
11	公募委員	住民			遠藤 剛

(事務局)

政策推進課 課 長 柏崎 勝徳
課長補佐 川原 真栄子
主任主査 馬場 祐二

(1) 会長・副会長の選任について

条例別表1 会長等の選任方法により委員の互選により選出する。

会 長

副会長

おいらせ町執行機関の附属機関の設置等に関する条例（抜粋）

(附属機関の設置)

第3条 町長の附属機関として別表第1、教育委員会の附属機関として別表第2及び町長及び教育委員会の附属機関として別表第3に掲げる附属機関を設置するものとし、附属機関の所掌事項、委員の定数、委員の構成、委員の任期、会長等の選任方法及び庶務担当課は、同表の当該各欄に掲げるとおりとする。

2 前項の規定にかかわらず、附属機関の委員に欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員の委嘱等)

第4条 附属機関の委員は、法律に別に定めのあるものを除くほか、別表に掲げるもののうちから必要に応じ執行機関が委嘱又は任命を行うものとする。

2 附属機関の委員は、再任を妨げないものとする。

附属機関	所掌事項	委員の定数	委員の構成	委員の任期	会長等の選任方法	庶務担当課
おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議	町長の諮問に応じ次に掲げる事項について調査審議すること。 (1)おいらせ町人口ビジョンに関する事項 (2)まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条に規定する市町村まち・ひと・しごと創生（以下「総合戦略」という。）の策定及び見直しに関する事項 (3)総合戦略の検証に関する事項 (4)その他町長が必要と認める事項	20人以上（公募による者を含む）	(1)町教育委員会の委員 (2)町農業委員会の委員 (3)国又は県の地方行政機関の職員 (4)町内の公共的団体の役員及び職員 (5)学識経験を有する者 (6)その他町長が必要と認める者	2年	(1)会長委員の互選 (2)副会長委員の互選	政策推進課

(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略について

①おいらせ町の総合戦略について

「総合戦略」とは、「長期ビジョン」を踏まえ、計画期間の政策目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

現在、日本全体が少子高齢化・人口減少の影響を受けており、国では全国的な人口減少とそれに伴う地方の衰退に歯止めをかけるため、まち・ひと・しごと創生法第8条の規定に基づき、まち・ひと・しごと創生総合戦略を平成26年12月27日に決めました。

当町では、町の人口の動向や推移を長期的に予測・分析した長期ビジョンである「おいらせ町人口ビジョン」と国や県の総合戦略を勘案し、平成27年度を初年度とする5か年の目標や具体的な施策等をまとめた「第1期おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年10月に策定しました。

令和2年3月には、社会情勢の変化等を踏まえ、新たに5か年を計画期間とした「第2期おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

【第2期おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略】・・・・・・・・・・資料1

・第2期おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

目 的	おいらせ町の人口減少の克服や雇用を含めた地域・経済の活性化
計画期間	2020年度～2024年度（令和2年度～令和6年度）
基本目標	①結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり ②新しいひとの流れによる交流の促進 ③地域産業の育成と活性化の推進 ④安心な暮らしを支える機能の維持
重点戦略	「若い世代の就労と子育て環境を充実させ、移住・定住を促進する」

【おいらせ町人口ビジョン 令和2年改訂版】・・・・・・・・・・資料2

おいらせ町人口ビジョンとは、様々なデータを基においらせ町の人口の動向や推移を長期的に予測・分析したものです。現在、町が目指す目標人口は、令和42（2060）年19,000人です。この目標人口を達成するために重要な4つの基本的視点を、総合戦略と連動して進めていきます。

・令和2年改訂版おいらせ町人口ビジョンで掲げた4つの基本的視点

①若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
②新しいひとの流れをつくる
③安心して働けるようにする
④安心でゆとりのある生活を実現する

②推進体制

- ・まち・ひと・しごと創生推進本部（町幹部職員19名：決定機関）
- ・まち・ひと・しごと創生推進本部幹事会（町課長補佐職員12名：施策の企画調整等）
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略会議（外部委員組織11名：諮問機関）
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略会議検証部会（戦略会議内組織：事業検証作業）

(3) 昨年度の活動（これまでの経緯）について

①昨年度の活動概要

No.	時期	内容	部署
1	R3. 8	○令和3年度第1回戦略会議 →組織会、総合戦略の取組経過、検証部会委員の選出	戦略会議
2	R3. 9	○総合戦略進捗状況（KPI）調査	政策推進課
3	R3. 10	○地方創生関連事業の検証 →自由の女神リブランディング事業、 百石高校魅力アップ事業	検証部会
4	R3. 11	○地方創生関連の新規事業の検討①	幹事会
5	R4. 1	○地方創生関連の新規事業の検討②	幹事会
6	R4. 2	○委員からの意見聴取 →検証部会・進捗状況（KPI）・新規事業検討状況の 報告・戦略見直し（案）の報告 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、戦略会議を 開催せず、書面にて委員から意見を聴取しました。意見 についての（町からの）回答は、各案件にて報告します。	戦略会議
7	R4. 3	○推進本部会議 →新規事業の検討、戦略会議の報告	推進本部
8	R4. 3	○議会 →総合戦略の取組経過、戦略会議の報告	推進本部
9	R4. 5	○地方創生関連の新規事業の検討③、まとめ	幹事会
10	R4. 8	○令和4年度第1回戦略会議 →組織会、総合戦略の取組経過、検証部会委員の選出、 地方創生に関する意見拝聴	戦略会議
11	R4. 10	○総合戦略進捗状況（KPI）調査	政策推進課
12	R4. 11	○地方創生関連事業の検証 →おいらせ町移住者採用企業支援補助金事業、 甲洋・下田小学校区 子育て世代定住助成金事業	検証部会
13	R5. 1	○令和4年度第2回戦略会議 →検証部会、進捗状況（KPI）の報告	戦略会議
14	R5. 2	○推進本部会議 →戦略会議の報告	推進本部
15	R5. 3	議会 →総合戦略の取組経過、戦略会議の報告	推進本部

②まち・ひと・しごと創生総合戦略会議

●会議委員 任期：令和3年8月27日～令和5年8月26日

役職	所属団体	職名	氏名	備考
会長	独立行政法人国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校	総合科学 教育科 教授	河村 信治	
副会長	下田タウン株式会社	代表取締役 社長	木村 賢一	
委員	厚生労働省青森労働局三沢公共 職業安定所	所長	南 士氏	
委員	上北地域県民局地域連携部地域 支援チーム	リーダー	杉山 智明	
委員	おいらせ町商工会		藪 豊子	
委員	おいらせ町地域活動連絡協議会	会長	高淵 華奈子	
委員	青森銀行百石支店	支店長	中村 綱吉	
委員	青森県立百石高等学校	校長	志村 博	
委員	公募委員		赤石 英二	
委員	公募委員		小川 雅幸	

●戦略会議・検証部会

会議名	第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略会議
開催日時	令和4年8月27日（金）14：00～15：35
出席者	河村会長 外8名 事務局(政策推進課)3名 計12名
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年度の活動報告（これまでの経緯）について 2. 新規事業検討（幹事会）の報告について 3. 総合戦略関連事業検証部会の開催について 4. 地方創生に関する意見交換について
主な意見	<p>①おいらせ町の人口が増えている（維持している）理由 理由として「市に囲まれている。」「地価が安い。」「雪が少ない。」等の意見があげられた。また、おいらせ町に移住者が多い理由の調査や分析を求める意見も多かった。</p> <p>②甲洋小学校区・下田小学校区への移住支援 現在、移住支援金の対象となっている甲洋小学校区・下田小学校区について、「北部地区と比べて、アパート等の賃貸が少ないことが人口減少の原因の一つでは。」「この地域は農業用地等が多いので、住宅を容易に建てることができないからでは。」「甲洋小学校区は、海が近く、津波の浸水想区域になっているため、今後人口が増えるとは思えない。」等の意見が出された。</p>

	<p>③町全体への意見</p> <p>「町の都市計画が改正されたので、より住みやすくなると思う。」「全国的に人口減少が進むので、地域ごとに医療も買い物もできるコンパクトなまちづくりをすれば、移住者が増えてくるのではないか。」「地元の高校を卒業しても、働くために外に出てしまう人が多い。外に出た人たちが町に帰ってきたいと思える何かがないと、高齢者の多い町になってしまう。」「移住者を増やすには、働く場所を増やさないといけないのではないか。」等の意見が出された。</p> <p>④検証事業について</p> <p>これまでの意見交換の結果から、今年度は移住に関する町の事業を検証することとなった。</p>
--	---

会議名	令和4年度おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議検証部会
開催日時	令和4年11月16日(水) 10:00~11:55
出席者	出席部員：河村部会長 外4名 事務局(政策推進課)3名 計8名 説明者：政策推進課
次第	地方創生関連事業の評価・検証について ①おいらせ町移住者採用企業支援補助金事業：政策推進課 ②甲洋・下田小学校区 子育て世代定住助成金事業：政策推進課 ③過去の検証事業について：政策推進課
検証結果	<p>①おいらせ町移住者採用企業支援補助金事業</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者に求人条件のほか、仕事内容や働く環境、理念等の企業活動をイメージできる情報発信を行う企業の採用活動を支援することにより、町への移住者の増加を図ることを目的に実施している事業である。 ・移住者の採用を希望している企業が広く求人情報等を周知するために、就職支援サイトへの掲載に係る費用の一部を助成している。助成額は、その経費の3/4を町が助成する。また1社あたりの助成額は、対象経費40万円×補助率3/4＝上限30万円 <p>【検証結果】</p> <p>有効性（5点満点）・・・2点 将来性（5点満点）・・・2.4点</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内企業がどの位の求人を必要としているのか等、詳しい調査が必要である。町内企業に助成するよりも、新たな町外企業を町に誘致にする助成の方が効果を期待できるのではないか。 ・特に手をかけなくても町に移住者は増えると思うので、もっと町の魅力をアップさせる施設やイベントに予算を移行させるのはどうか。魅力アップさせることで、さらに移住者が増えると思われる。

	<p>②甲洋・下田小学校区 子育て世代定住助成金</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が著しい地区に住宅を取得する子育て世代の移住者に対し、当該助成金を交付することで人口減少及び少子高齢化を抑制し、もって地域の活力の維持向上を図ることを目的に実施している事業である。 ・助成額は、新築：上限 100 万円、中古：上限 60 万円、増改築：上限 20 万円 <p>【検証結果】</p> <p>有効性（5点満点）・・・2点 将来性（5点満点）・・・2点</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地区は、地価が他の地区に比べて安価であれば、アピールポイントだと思う。しかし、助成金利用者の半分が、移住のきっかけが助成金ではないことを聞き、違う方向性を模索した方がいいと感じた。 ・利便性が悪く、災害危険性が高い場所に人を集めようとする必要が果たしてあるのだろうか、とても疑問である。費用対効果を上げるためにも人口が増えている地域や、利便性の高い（行政的にも）地域への施策を進めた方が町としての効果が期待できると思う。
会議名	第2回まち・ひと・しごと創生総合戦略会議
開催日時	令和5年1月25日（水）10：00～11：45
出席者	河村会長 外6名 事務局(政策推進課)3名 計10名
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和3年度指標（KPI）の達成度について 2. 令和4年度 総合戦略検証部会 評価・検証結果について 3. 地方創生に関する意見交換について
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・指標（KPI）の達成度や事業を毎年評価しているが、今は低い評価でも継続して実施することで効果が出ることもあるので、数値にとらわれない視点も必要だと感じる。 ・ホームページのみの情報発信だと、対象者が自分で調べない限り、情報にたどりつくことができない。まずは、対象者との第一接点を持つためにも、情報発信の工夫を検討しなくてはならないのではないかと感じた。 <p>●政策推進課からの報告</p> <p>検証部会の結果等をふまえ、今後の事業の実施方針を報告した。</p> <p>①おいらせ町移住者採用企業支援補助金事業</p> <p>令和5年度は事業を休止し、事業の評価・再考を行う。</p> <p>②甲洋・下田小学校区 子育て世代定住助成金事業</p> <p>事業の最終年度である令和5年度までは実施するが、その後は事業の評価・再考を行う。</p>

③新規事業の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3

町では、地方創生に関連した事業や将来的な人口減少に備えた事業が少ないことから、まち・ひと・しごと創生推進本部幹事会（課長補佐職員）にて、事業を検討しました。

●グループで考えた事業素案

グループ	A	B	C
事業名	アートを通じた市民交流事業（参加型イベント）	町をPRしてくれるYouTuberを支援事業	アウトドア体験型のふるさと納税返礼品の開発事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・町中アートをめぐるウォークラリー ・定期的なアート作り体験会 ・アートマップ作成 	町のPRに協力（動画作成等）してくれるYouTuberを支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・カワヨ〜キャンプ+BBQ ・下田公園、いちよう公園→グランピング商品化
事業の種類	新規事業	新規事業	既存事業(磨き上げ)
参考したクロスSWOT分析	SO戦略 →十和田、八戸美術館と自由の女神のコラボ		SO戦略 →非日常を都内住みの人へ提供
予想できる事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民交流 ・観光客の誘致 ・今ある資源の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・町に興味をもってもらうことで、観光・定住促進につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の増加 ・来訪する人の増加 ・魅力の発信

④数値目標・重要評価業績指標（KPI）の達成状況・・・・・・・・・・・・・・・・資料4

総合戦略では、29の数値目標・重要評価業績指標（KPI）を設定しております。令和3年度の達成状況は、次のとおりとなりました。なお、「高」「中」を合計した達成率は、69.0%となりました。

達成度	項目・割合	項目数（29項目中） ※数値目標含む	割合
達成度 高		14 指標	48.3%
達成度 中		6 指標	20.7%
達成度 低		7 指標	24.1%
その他 ※毎年、数値確認できない指標		2 指標	6.9%

達成度高、中 ⇒ 69.0%（前年度より▲3.4ポイント）

(4) おいらセラボ（仮称）の開催について

①開催概要

毎年地方創生に関連した事業の効果検証を行う「検証部会」を実施していましたが、一
通り対象事業の検証が行われたため、新たに「おいらセラボ（仮称）」を企画しました。

これは、地方創生に関連した事業や話題等について、委員数名で意見交換や研究等
を行います。その結果を戦略会議で報告・協議し、おいらせ町の更なる発展を目指すもので
す。

②メンバーの選任

戦略会議委員の中から 5～6 名を選任します。

役職（仮）	氏名
部長	
副部長	
部員	
部員	
部員	
部員	

(5) 今後のスケジュール

No.	時期	内容
1	令和5年9月	第1回戦略会議（委員の委嘱等）
2	令和5年11月	おいらセラボ（仮称）の開催
3	令和6年1～2月	第2回戦略会議（おいらセラボの報告等）
4	令和6年4月以降	第3期おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定 作業等